



## I □ TOP 横浜 「インテリジェント・インターセクション」 交通流観測の実証実験をみなとみらい21地区にて開始します

横浜市は「I □ TOP横浜」を通じた実証実験支援を行うことで、IoTやAIなどの先端技術を活用した生産性向上や社会課題の解決への貢献、新たなビジネスモデルの創出に取り組んでいます。

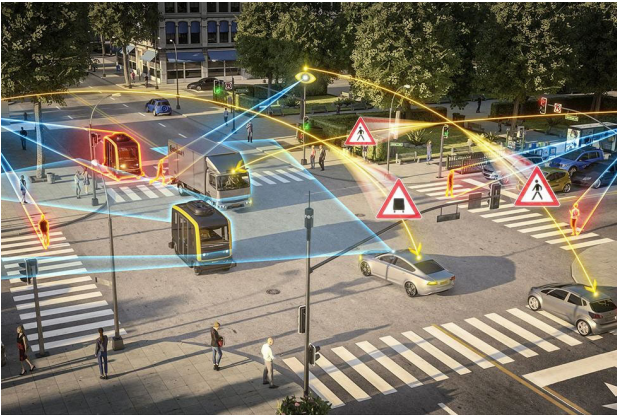
このたび、「I □ TOP横浜」の取組として、コンチネンタル・オートモーティブ株式会社が、交差点内に交通流観測用センサー（レーダー・カメラ）を設置し、そこで得られたデータを解析する「インテリジェント・インターセクション」の実証実験をみなとみらい21地区で行います。

将来的に、解析されたデータに基づき、センサーと連動した光・音声デバイス等を通じて歩行者や車両に危険を知らせることができれば、歩行者や車両の安全性が高まり、市内の交差点部における交通事故を減少させることが期待できます。

### 1. 実証実験の概要

<p>内容</p>	<p>交通流観測用センサー（レーダー・カメラ）を設置し、解析したデータを交差点部の歩行者や車両の安全性向上に活用することを目的とした実証実験</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>交通流観測センサー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>交通流映像</p> </div> </div>
<p>実施場所</p>	<p>さくら通り西交差点 * さくら通り歩道橋に「交通流観測用センサー」を設置します。</p>
<p>実施期間</p>	<p>令和4年7月20日（水）～12月15日（木）（予定）</p>

## 2. インテリジェント・インターセクションについて



- 過半数が交差点や交差点周辺で発生している交通事故の削減につながるソリューションです。
- 交差点内に交通流観測用センサー（レーダー・カメラ）を設置し、そこで得られたデータを解析し、光・音声デバイスなどを通じて、歩行者や車両に危険を知らせることを目指しています。
- インテリジェント・インターセクションは事故のない交通社会、ビジョン・ゼロの実現に向けた、コンチネンタル社が提案する協調システムの一例です。

## 3. 設置場所（さくら通り西交差点）について



出典：国土地理院ウェブサイト

(<https://maps.gsi.go.jp/#16/35.453329/139.630845/&base=pale&ls=pale&disp=1&vs=c0g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0>) から作成

### お問合せ先

【I・TOP横浜に関すること】 経済局産業連携推進課担当課長 松本 圭市 Tel:045-671-3591  
【交通流観測に関すること】 コンチネンタル・オートモーティブ株式会社  
コミュニケーション本部 本多 理恵 CF\_YO\_SM\_Japan@continental.com

※ 本件は、コンチネンタル・オートモーティブ(株)と同時発表しています。

※ 本件は、横浜経済記者クラブにも同時発表しています。

別紙あり

【参考】コンチネンタル・オートモーティブ株式会社について

ドイツのハノーファーに本社を置くコンチネンタルは世界的な自動車部品サプライヤーとして世界 58 の国と地域で事業展開をし、自動運転、電動化、コネクティビティといった自動車産業のメガトレンドに沿って、持続可能なモビリティに向けたソリューションを開発しています。

日本においては、2000 年にコンチネンタル・オートモーティブ株式会社を設立、2004 年に横浜市に本社機能を移転したのち、2007 年に、横浜市にコンチネンタル・エンジニアリング・センターを開設し、日本の顧客に向けた技術・システムの開発、製造、販売を行っています。日本の道路環境や交通事情に応じた最適なソリューションを提供するため、専用車両を用いてさまざまな検証も行い、世界チームレベルで知見を深めています。

【本社所在地】 神奈川県横浜市神奈川区新浦島町 1-1-32 ニューステージ横浜ビル

【設立年】 2000（平成 12）年 12 月 4 日

【事業内容】 自動車部品メーカー

【代表者】 ヘルトルド・ヴォーフラム

【国内拠点数】 12 拠点

【売上高】 338 億ユーロ （2021（令和 3）年グローバル実績）



最新世代電子制御ブレーキシステム  
MKC 2



短距離レーダーセンサー  
SRR600



【参考】I □ TOP 横浜について

I □ TOP 横浜  
IoT Open Innovation Platform, YOKOHAMA

多様な  
参画プレイヤー

交流機会の提供

社会課題  
解決への  
貢献

【I □ TOP 横浜（IoTオープンイノベーション・パートナーズ）とは】

横浜経済の強みである「ものづくり・IT 産業の集積」を活かし、IoT 等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組から個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。

I □ TOP 横浜ウェブサイト  
<https://itop.yokohama/>